

質疑

歳入 (町の収入)

現年度課税分の収納率の向上要因は

議員 町税の現年度課税分の収納率が高くなっているがそれらの取り組みを問う。

当局 現年度分の収納率は98・47%で前年比0・11%の増加。早期催告や滞納処分など収納努力があったものと思われる。

住民混乗路線の実態は

議員 スクールバスの住民利用の実態を問う。

当局 スクールバスは平成23年度より導入。荒砥・中山線と荒砥・大瀬線の2路線で実施している。住民利用は2路線で年間のべ907人となっている。中山線が10万2800円、大瀬線が5万3200円でした。

入湯税の増加要因は

議員 入湯税が前年より増えているがその要因は。

当局 震災による影響が回復傾向にあることにくわえ入浴券の期間延長などにより、日帰り入浴者の大幅な増加によるもの。



住民混乗スクールバス

平成24年度一般会計収入決算額一覧

歳入(町の収入)	決算額
町 税	11億7093万円
地方交付税	37億218万円
国庫支出金	4億4813万円
県支出金	6億4602万円
分担金及び負担金 使用料及び手数料	1億9500万円
町債(借入金)	12億2720万円
その他	11億2597万円
合計	85億1543万円

※万円未満は端数を整理しています。

